

令和3年度事業報告書

1. 四日市市障害者体育センター管理・運営にあたって	2
2. 管理・運営を行うにあたっての基本方針	3
3. 施設管理運営の実施方針	3
4. 施設等の管理運営方針について	5
(1) 施設の運営体制や組織について	5
(2) 組織図表に記載された職員の雇用関係、勤務体制(勤務時間、休日等)、	6
(3) 障害者雇用による職員配置の有無	6
(4) 開館時間における具体的な人員配置及び人数(週間スケジュール表)	7
(5) 四日市市や近隣福祉施設との連絡・連携体制	7
5. 職員の研修について	8
6. 業務の年間計画等について	9
7. 安全管理、災害発生時等緊急時の対応について	10
8. 環境・障害者等への配慮について	11
9. 地域貢献について	11

1. 四日市市障害者体育センター管理・運営にあたって

グループ協定書に基づき、特定非営利活動法人ユニバーサル就労センター、特定非営利活動法人四日市市知的障害者育成会の2団体による四日市市障害者体育センター運営委員会の第1年目の事業報告を行う。

令和3年度四日市市障害者体育センター利用実績

月	令和3年	月	令和3年
4月	20	4月	134
5月	17	5月	72
6月	16	6月	89
7月	21	7月	126
8月	11	8月	55
9月	-	9月	-
前期計	85	前期計	476
10月	20	10月	124
11月	22	11月	137
12月	16	12月	112
1月	8	1月	28
2月	-	2月	-
3月	13	3月	56
後期計	79	後期計	457
年度計	164	年度計	933

※8月27日～9月30日 緊急事態宣言の為全面休館

※1月21日～3月6日 まん延防止措置の為全面休館

障害者利用率(件数)		障害者利用率(人数)	
	令和3年		令和3年
障害者	164	障害者	933
一般	214	一般	3272
計	378	計	4205
利用率	43%	利用率	22%

施設稼働率

	令和3年
①開館(利用有)日数	229
②開館(利用無)日数	14
実稼働日数(①-②)	215
施設稼働率	94%

※ 令和3年8月27日から同年9月30日まで緊急事態宣言発令、令和4年1月21日から同年3月6日まで蔓延防止等重点措置が三重県に発令されたことに伴い、前年(令和2年度・旧体制時)障害者利用人数1,358人に対し、425人今年度は障害者利用人数が減少した。(令和3年度の障害者利用人数は933人)。この背景にはコロナウイルス感染症に対する障害者団体の警戒感が要因と考える。

2. 管理・運営を行うにあたっての基本方針

- 四日市市障害者体育センターの設置目的を踏まえた指定管理者としての基本方針
 - ・ 公の施設であることを意識し、どの利用団体にも公正公平な運営を心掛けた。
 - ・ 障害者の利用促進を図る為、ホームページをリニューアルし(<https://www.stc-yokkaichi.com/>)、今年度から広報紙を発刊、市内の公共施設や障害者施設に送付した。
 - ・ 業務に従事する職員は、精神障害当事者2名の常勤職員とした。
 - ・ 事務室内のエアコンを省エネ型に新調し、館内の照明を必要性が無い時は消灯するなど、省資源、省エネに努めた。また、Excel ファイルで毎月の光熱水費のデータを記録した。
 - ・ 障害者自立支援施設共栄作業所、障害者自立支援施設たんぼぼ等と連携し、西日野福祉ゾーン合同防災訓練、トランシーバー訓練を実施するなど、近隣の福祉施設との関係構築に努めた。
 - ・ 利用者用アンケートの様式や収集形式を改善した。様式の簡略化や、各利用団体内3名ずつ(人数の少ない場合は2名)に回答をお願いするなど、より利用者の要望・傾向を正確に把握できるよう努めた。
- 障害者のスポーツ、レクリエーションの振興
 - ・ 広報紙にて障害者スポーツ団体の活動やスポーツのルール・歴史を掲載し、障害者スポーツの普及に努めた。
 - ・ 旧四日市市障害者体育センター運営委員会からの援助を受け、新しい競技の用具を購入した。(ストラックアウト・ドッチビー・輪投げ)また、障害者スポーツ・ボッチャの道具一式(ボッチャのボール等)を一つ追加購入した。
- 利用促進、利便性向上、経費削減等提案
 - ・ 館内外の清掃、花壇の水やり等の手入れ、備品等の整備に気を配り、いつ来館しても気持ちよく利用して頂ける環境づくりに努めた。
 - ・ 館内のパンフレット等の掲示用に、掲示板やパンフレットスタンドを設置した。
 - ・ 利用者様からトイレの便座が冷たいという意見が以前からあったので、四日市市の業者の助力を得て、女子トイレの横の障害者用トイレを温水便座にすることができた。
 - ・ 利用者様からの要望を受け、卓球用具(アジャスター・ネット)と卓球台を1台新調することができた。

3. 施設管理運営の実施方針

- 管理運営(自主事業を含む)、人員体制に関する実施方針
 - ・ 今期から総括マネジャーを新たに配置して、毎月定期的に事業推進のチェックや、対外的な連絡調整を行って頂いた。また、定期的に運営委員による会議を行い、会議で決定したことに基づいて運営を行った。
- 施設・設備のメンテナンス
 - ・ 館内の施設・設備の不備に気を配り、不具合を見つけたり、利用者様から不具合を指摘されたりした場合は、四日市市・運営委員会と協議のうえ、速やかに対処した。
 - ・ 体育センター西側のコンセントが破損し、危険な状態だった為、矢田商会に修理して頂いた。

- 施設利用者様の安全性確保・体調不良時の一時対応
 - ・ 夏季の熱中症対策として、冷蔵庫に利用者用のスポーツドリンクを備蓄するなど、体調不良時の対応に努めた。
 - ・ 四日市南消防署南部分署の職員を招聘して、指定管理者団体を中心とした救命入門講習を実施して、緊急時の対応を学んだ。

- 障害者団体利用促進に関する方針
 - ・ 今期より発刊した体育センター通信を各地区市民センター・障害者施設等に送付したり、ホームページを改善したりして当館の認知度向上に努めた。

- 障害当事者の特性を理解した安全性確保
 - ・ さまざまな障害の特性を、令和3年7月の初級障害者スポーツ指導員養成講座などで学び、安全性確保に努めた。

- 法令遵守、個人情報保護
 - ・ 年次協定書に記載がある法令等に関する資料等をインターネット等も活用して理解することに努めた。そのうえでコンプライアンス規定を作成して、当センター運営委員会等を通して議論し、実践していった。

- 管理運営における利用者様の意見の反映
 - ・ 普段から利用者への挨拶を職員から積極的に行うなど、親しみやすい雰囲気づくりを心掛け、利用者からの要望には適宜運営委員会の場に報告、議論し反映することを努めた。

- 施設、設備を活用した障害者への就労体験、実習機会の提供に関する方針など
 - ・ 毎月1回のWAX掛け・草取り清掃には、指定管理者の一つである多機能事業所ユニバーサル就労センターの利用者に参加して頂いたり、障害者自立支援施設共栄作業所にも声掛けを行ったりなど、障害者就労の実践の場として当センターを活用した。

- 新型コロナウイルスなど感染症等への対応
 - ・ 受付名簿を作成し、当館の利用毎に団体各員の個人情報(団体代表者の氏名、住所、緊急連絡先と利用者様の氏名、連絡先)を記録した。頂いた個人情報は各法令にのっとり、細心の注意を払いながら管理した。
 - ・ 各利用団体様の当館利用後にソファ等除菌スプレーを散布した。また、適宜手摺り・水栓レバー・便座・靴箱・清掃用モップの柄・ドアノブ等をアルコール清拭し、館内設備の除菌・消毒に努めた。

4. 施設等の管理運営方針について

(1) 施設の運営体制や組織について

○ 管理運営のための組織図表、責任体制図表

【四日市市障害者体育センター運営委員会】

運営委員長	四日市大学教授 松井 真理子
運営委員(総括マネジャー)	特定非営利活動法人ユニバーサル就労センター 副代表理事 金 憲裕
運営委員	特定非営利活動法人ユニバーサル就労センター 代表理事 松井 周
運営委員	特定非営利活動法人四日市市知的障害者育成会 代表理事 青戸 勝美
運営委員	特定非営利活動法人四日市市知的障害者育成会 副代表理事 水谷 泉
運営委員	四日市市障害者体育センター 施設長 高橋 亮
監事	公益財団法人ささえあいのまち創造基金 研究員 畑中 純一

【事務局】

施設長(常勤職員)	高橋 亮
施設長補佐(常勤職員・会計)	長谷川 翔鳳
アルバイト職員	3名程度 ※ その他、障害者団体の訓練受け入れを行った。

【外部評価会議委員】

就労継続支援B型作業所 共栄作業所 所長 藤田 勝彦
障害者自立支援施設 たんぽぽ 所長 山口 将輝
三重県立特別支援学校 西日野にし学園 校長 坂本 学
特定非営利活動法人 共栄しらとりの会 副理事 三井 三千夫
特定非営利活動法人 障害者福祉チャレンジドネット 理事 板谷 美智子
四日市市身体障害者団体連合会 会長 伊藤 政敏

※ 外部評価会議

- (1) 目的：四日市市障害者体育センターの事業内容への助言・提案・協力
- (2) 開催：本年度はコロナウイルス感染症の影響を鑑み年1回開催(令和4年2月28日)
- (3) 構成員：四日市市身体障害者団体連合会、その他障害者関係団体等

(2) 組織図表に記載された職員の雇用関係、勤務体制(勤務時間、休日等)、担当業務内容、保有資格、技術、緊急対応時の役割等を明記した一覧

職員氏名 (障害種別)	雇用関係	勤務体制 勤務時間・休日等	担当業務 緊急時役割	保有資格
高橋 亮 (統合失調症・精神3級)	施設長 (常勤職員)	水・木・金・土：7.5時間 日曜日と月曜日は原則隔週交替勤務	施設長 総括・ 危機管理	防火管理者 定期普通救命講習受講済み
長谷川 翔鳳 (発達障害・精神3級)	施設長補佐 (常勤職員)	水・木・金・土：7.5時間 日曜日と月曜日は原則隔週交替勤務	施設長補佐 広報・IT 施設管理 会計	危険物取扱者 乙1～6種 第2種電気工事士 日商簿記3級
その他の職員 (3名程度)	アルバイト	毎月第2火曜日	WAX掛け・ 草取り清掃	

(3) 障害者雇用による職員配置の有無

- ・ 高橋 亮(精神3級)
- ・ 長谷川 翔鳳(精神3級・発達障害)
- ・ アルバイト職員(複数名)身体障害(視覚障害、肢体障害、聴覚障害等)ほか
- ・ 実習生(複数名) 知的障害、精神障害

○ アルバイト職員、実習生等による WAX 掛け・草取り清掃等従事者

氏名	障害種別	備考
鈴木 二三子	肢体障害	
江川 聰代	肢体障害	
杉野 理悟	視覚障害	
ユニバーサル就労センター利用者		

※ 共栄作業所にも WAX 掛け・草取り清掃の参加希望者を募ったが、本業を優先し今年是不参加となった。

(4) 開館時間における具体的な人員配置及び人数(週間スケジュール表)

曜日	勤務時間・勤務者		
	午前9時～午後1時	午後1時～午後5時	午後5時～午後9時
月		高橋又は長谷川	
火	休館日（毎月第2火曜日のみワックス掛け・草取り清掃）		
水		高橋、長谷川	
木			
金			
土			
日	高橋又は長谷川(原則隔週で交替)		

障害種別執務者数…精神障害者2名

(5) 四日市市や近隣福祉施設との連絡・連携体制

- ・ 本年はコロナウイルス感染症の影響もあり、四郷地区防災訓練は中止となった。
しかし、昨年に引き続き、共栄作業所、たんぽぽ、西日野にじ学園とは不審者情報を共有し、防犯対策に努めている。

5. 職員の研修について

○ 人材育成に向けた基本方針

- ・ それぞれの障害の違いを認識した上で、生涯学習の時代を鑑み、仕事を通じて様々な事柄を学び続けられる人づくりを目指した。

○ 職員の研修

(1) 障害者スポーツ研修

職員1名が初級障がい者スポーツ指導員の講習を受講し、同資格を取得した。

日程・研修内容については、以下の表の通りである。

研修日	研修開催時刻	講義名	講師
7/10 (土)	13:00～16:00	各障害の理解(身体)	至学館大学健康科学部 健康スポーツ科学科教授 大槻 洋也 先生
	16:15～17:45	安全管理	
7/11 (日)	9:00～10:30	障がい者スポーツの意義と理念	日本福祉大学スポーツ科学部教授 藤田 紀昭 先生
	10:45～12:15	スポーツのインテグリティ ¹ と指導者に求められる資質	
	13:15～14:45	障がいのある人との交流(実技)	三重県車いすテニス協会
	15:00～16:30	各地域の障がい者スポーツ推進の取り組み	三重県障がい者スポーツ指導者協議会理事 叶 俊文 先生
7/17 (土)	9:00～10:30	各障がいの理解(知的)	三重県いなば園 地域支援2課 課長 小西 隆之 先生
	10:45～12:15	全国障害者スポーツ大会の概要	三重県障がい者スポーツ指導者協議会 副会長 小林 昭洋 先生
	13:15～14:45	各障害の理解(精神)	障がい者総合支援センターくわな 天春 卓也 先生
	15:00～16:30	コミュニケーションスキルの基礎	大阪体育大学スポーツ科学センター スポーツ心理ディレクター 中山 亜未 先生
7/18 (日)	9:00～12:00	各障がいのスポーツ指導上の留意点と工夫	三重県障がい者スポーツ指導者協議会会長 山本 章弘 先生
	13:00～14:30	障がい者スポーツに関する諸施策	三重県子ども・福祉部 障がい福祉課 社会参加班 西崎 隼人 先生 国体・障害者スポーツ大会局 全国障害者スポーツ大会課 大会競技班 班長 川喜田 宏 先生

¹ インテグリティとは、「誠実性・健全性・高潔性」という意味の用語である。

(2) 救命入門講習

令和3年11月17日水曜日に当館にて救命入門講習を行った。当日は、当館職員2名とユニバーサル就労センター職員7名が参加し、四日市南消防署南部分署の職員の指導の下で、胸骨圧迫と人工呼吸、AEDの使い方等について講習と演習を行った。

(3) 障害福祉研修(精神・発達障害者しごとサポーター養成講座)

令和4年1月31日月曜日にハローワーク四日市の職員を招き、オンライン上にて精神・発達障害者しごとサポーター養成講座を行った。主に精神・発達障害当事者に対する仕事上の配慮点などを学んだ。

(4) 消防総合訓練

令和4年3月9日水曜日に当館にて救命入門講習を行い、当館職員5名と防災機器の説明に矢田商会の矢田氏が参加した。通報から避難の流れや、水消火器を使用した消火訓練を行い、実施後に反省や改善点を話し合った。

○ 研修内容・実施日・参加者数など

実施日	参加人数(職員)	研修内容
7/10~11、 7/17~18	1名	初級障がい者スポーツ指導員養成講座
11/17	2名	救命入門講習
1/31	2名	精神・発達障害者しごとサポーター養成講座
3/9	5名	消防総合訓練

6. 業務の年間計画等について

○ 年間計画と業務内容(職場懇談会)及び出席日数

実施日 (火曜開催)	参加人数	業務内容
4/13	4名	WAX掛け、 草取り清掃
5/11	4名	
6/8	8名 (内ユニバーサル就労センターから3名)	
7/13	4名	
8/17	4名	
9/14	4名	
10/5	4名	
11/9	3名	WAX掛け
12/7	6名 (内ユニバーサル就労センターから2名)	WAX掛け、 体育室器具庫等の清掃
12/28	5名	大掃除
2/8	4名	WAX掛け、
3/8	4名	草取り清掃

○業務の一部委託を予定する場合について

施行日	業務内容	工費	事業者
6/30(水)	消防用設備等維持計画に基づく 機器点検及び総合点検	38,500 円	矢田商会
8/30(月)	建築設備点検	44,000 円	株式会社 山田建築設備設計
12/10(金)	消防用設備等維持計画に基づく 機器点検	33,000 円	矢田商会
計		115,500 円	

○ 修繕業務

施行日	業務内容	工費	事業者
4/22(木)	体育室コンセント修繕工事	5,500 円	矢田商会
6/10(木)	体育室雨漏り修繕工事	143,000 円	合同会社 エムアンドエイ
6/24(木)	トイレ修理	9,790 円	カノウ メンテナンス
9/15(水)	事務室エアコン工事	128,590 円	大門デンキ
2/15(火)	火災報知器、 火災・煙探知機等修繕工事	220,000 円	矢田商会
計		506,880 円	

○ 清掃業務

3/29(火)	床面洗浄及びガラス清掃	68,000 円	株式会社三重建光社
---------	-------------	----------	-----------

○地域との連携について

- ・西日野福祉ゾーンの諸施設と防災・不審者情報を中心に交流した。

7. 安全管理、災害発生時等緊急時の対応について

- 障害者の特性に応じた防火防災安全管理事項、福祉施設等との合同防災訓練や地域との連携による地震火災避難誘導対策
 - ・西日野福祉ゾーンの合同防災訓練に参加するなど、地域と連携し災害時の対策に努めた。
 - ・救命入門講習を行うなど、職員の救命行動に関する知識や技能の向上に努力した。
 - ・非常災害、事故等の緊急事態発生に備え、緊急時連絡網を作成するとともに、事故対策マニュアル、緊急時マニュアル等の整備を行った。
 - ・適宜大雨、台風などの後は四日市市に施設の被害の有無を報告した。
- 損害賠償などリスク対応(保険加入等)
 - ・利用者対象の施設賠償責任保険に加入した。

- 施錠、防火、盗難防止、不審者対策など
 - ・ 防火責任者の姓名を事務室入口に掲示した。
 - ・ 火事・救急時の役割分担や通報の流れ、通報内容を電話の近くに掲示した。

- 8. 環境・障害者等への配慮について
 - 施設周囲の美化保全
 - ・ 事務室外の庭に花を植えるなど、美観の保持に努めた。

- 9. 地域貢献について
 - 障害者雇用についての実績と考え方
 - ・ 三重県の障害者委託訓練を活用して常勤職員を1名増員するなど、障害者雇用の実践の場として当館を活用した。